



令和3年度 6月号 令和3年6月1日

上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 河口 尚志

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharae>

紫陽花

校長 河口 尚志

正門を入ってすぐ左側の花壇に大きな紫陽花が咲き始めました。

紫陽花には様々な色の花が見られます。花の色は「アントシアニン」という色素が関係しているそうです。土の酸性度（pH）によって花の色が変わり、一般に「酸性なら青、アルカリ性なら赤」になると言われています。花言葉はいくつかある中で「辛抱強い愛情」が当てはまると思います。

梅雨の時期、雨にあってもきれいな花の美しさを保とうとする強さがあります。土壌の変化によって変わる花弁を、最大限美しく見せようとする愛情が伝わります。



緊急事態宣言が再延長されました。学校ではさらに学習内容や行事の変更をしながら対応をしているところです。コロナ禍で最近心配なこと、それは目には見えないストレスが大人にも子供にも蓄積されてきているということです。運動不足や様々な制限の中での我慢が、何らかの形で出てきているのではないのでしょうか。例えば気分が乗らなかつたり、やる気が起きなかつたり、体調不良であったりなど、様々な症状があります。あるいは形や症状に出ていないものもあるのかもしれない。

そんな時に大切なことは、人とのつながりです。誰かと話ができる、聞いてもらえる、ほめられる、認められる、人の役に立つ、などを通して「安心感」「自己肯定感」を高めることです。

子供の話をよく聞き、受け止めることが大切です。よかったことやがんばったことはもちろん、よくなかったこともいったん受け止め、その上で次の行動を考えさせればよいのです。

受け取ってもらえた安心感を味わい、そんな自分を好きになる気持ちが高まればと思います。

最近他者とのかかわりについて、友達とのほんのちょっとの違いでも、それがもとでトラブルに発展してしまうこともあります。自分の主張と、友達に合わせることと、様々な葛藤があるのは当たり前です。多くのかかわりの中で揉まれ、自分を見つめ考える、そんな経験をたくさんする中で成長していくものです。

「生きているから」
痛みを感じるのは 生きているから
悩みがあるのは 生きているから
傷つくのは 生きているから
私は今 かなり生きているぞ

ここで、星野富弘さんの詩を紹介합니다。紫陽花の花言葉通り、多くの友達とのかかわりの中で、生きる強さや、自分の色（個性）を発揮できる強さを、子供たちがさらに身に付けていけるよう支援していきたいと思います。

PSS (PTAサポートスタッフ) の大募集

4月の保護者会で説明とお願いをしましたPSSのボランティアについて、これまで多くの方に関わっていただき、ありがとうございました。大変助かりました。

○1年生下校見守りPSS ○外国語活動補助PSS ○鼓笛活動PSS ○家庭科補助PSS
など、様々関わっていただいています。

今回のお願いは、水泳指導のプールサイド見守りPSSです。コロナ禍にあり、密を避けて水泳指導を行う関係上、学級単位での水泳指導になります。そのため、プールサイド上での見守りのボランティアを募集します。水着は必要ありません。午前1（9：00～10：30）、午前2（10：30～12：00）、午後（13：30～15：00）の3コマの時間帯です。（このお知らせが正式です。）

ご協力いただける方は、各担任までご連絡ください。どうぞよろしくお願ひいたします。